

2014 年夏北海道周遊の旅行記

いよいよ明日午後枚方市を出発します。

19 時名古屋港発の太平洋フェリーで北海道苫小牧港をめざします。

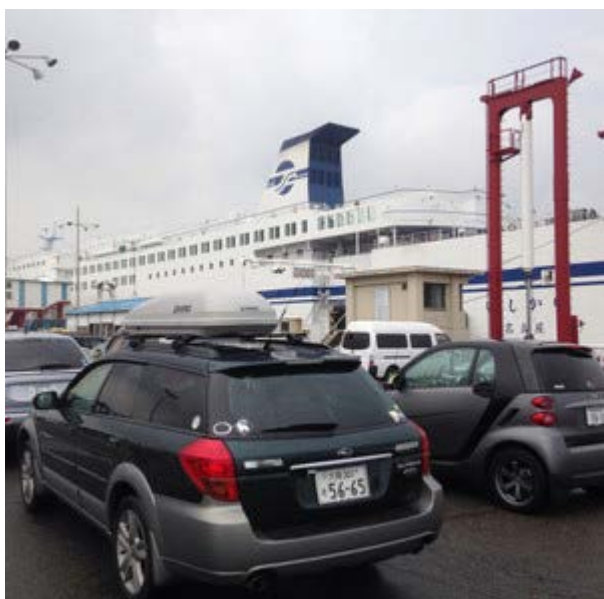


7 月 19 日(土)枚方～新名神～名古屋港～フェリー

枚方を 12 時に出発して、京滋バイパス～新名神～伊勢自動車道経由して太平洋フェリー名古屋埠頭に 16 時半到着。

本日の走行距離 160km。

スムーズに乗船。混み合う前に船内温泉に入浴。出港 30 分前のドラがなりました。



7 月 20 日(日)名古屋～仙台港～

21 時間かかり 16 時 15 分仙台港入港しました。大きな揺れではなかったのですが、軽い船酔いで 2 とも一日中寝ておりました。テレビ放送以外洋上では携帯も繋がらないためネットダメ。停泊して体調回復し、ネットに登場です。19 時半出港して明日 11 時に苫小牧です。



7 月 21 日(月)1 日目(道内)～苫小牧～白老～登別～室蘭

船は定刻前 10 時 45 分に苫小牧港入港。満杯の乗船のため、車は 11 時 30 分に上陸。

国道 36 号線に出て市役所手前で左折して少し進むと海の駅ぷらっとみなと市場。ここで北海道最初の食事は、苫小牧名物のホッキ貝のカレー。



食後、国道 36 号線に戻りを南西に走り白老町でアイヌ民族博物館ポロコタンを見学

(高校の修学旅行で来た場所思ってたがちよっと違ったようでした。)



更に南西に進み国道沿いの JR 登別駅から約 8km 山に入った登別温泉へ。地獄谷と大湯沼を見学。地獄谷はアジアからの団体観光客で一杯、マイカーしか入れない大湯沼は静かでした。



国道 36 号線に戻り、室蘭市へ。市の中心は逆 L 字に突き出た絵鞆半島(えともはんとう)の真ん中。そこはら半島の先にある「道の駅みたら室蘭」に到着 17 時。



10 台近くのキャンピングカーが止まっている。車中泊があると安心できそうなので、初泊はここで。本日の走行距離 100km。

WIFI が使えるのでゆっくりとパソコンでブログへ投稿。

車中泊の準備をし、隣接のむろらん温泉ゆららで汗を流し、併設のレストランで生ビールで夕食。

7月 22 日(火)2 日目 室蘭～昭和新山～洞爺湖～支笏湖～苫小牧

明るくなる 4 時過ぎには起きる。車内整理し、5 時半には車外で出発準備。6 時スタート。気温 17 度肌寒い。近くのセブンイレブンで朝食を済ませて、半島南東端にある地球岬(チキウ)へ向かう。霧で微かに灯台が見える程



度(残念、下の写真ははれているこう見える)。

半島の海岸線に近い測量山観光道路を通り南西端の絵鞆岬から白鳥大橋へ(途中は霧も上がり景色も good)。



白鳥大橋は、絵柄半島と対岸の国道 37 号線を結ぶ橋。37 号線を海岸線沿いを東に走り、伊達市の道の駅へ。珍しい野菜がいっぱい。(写真はアイスプラント) 普段の旅行なら大量購入だが、ここは夕食分を少し。



ここから少し 37 号線を走って、453 号線で北上し、道道 703 号線で昭和新山に立ち寄り洞爺湖。

るぶに掲載されていた湖畔の望羊蹄で名物ハンバーグランチの昼食、11 時半。

ここで天候を確認すると今夜から雨様子。急遽行先を変更し、苫小牧のホテルを予約。

湖岸沿いを時計回りに半周し北側の洞爺湖町の「水の駅」から国道 230 号線に出て、ルスツリゾートの道の駅を経由し、喜茂別町で国道 276 号線に入り支笏湖へ、15 時半着。1 時間ほど湖岸を散策。

ここから 276 号線は 10km はまっすぐな道で苫小牧まで続く。

明日の雨を考え夕方だがウトナイ湖に、霧雨で寒い。



少し戻って苫小牧駅前のルートインホテルに 18 時到着、本日の走行距離 210km。

部屋から見える駅前のショッピングビルが閉鎖されている様子。雨もあり駅の反対のビルに期待し夕食を買いに出る。ドンキホーテが入っておりスーパー並みの食料品を扱っている。お試しで毛ガニを買って夕食。

7 月 23 日(水)3 日目 苫小牧～新冠～襟裳岬

朝から小雨状態。ゆっくり起床し、8 時過ぎホテルの朝食。10 時チェックアウト。

目指すは襟裳岬。国道 36 号線から国道 235 号線に入り、JR 日高本線に沿ってむかわ町。

道の駅むかわに立ち寄る。ここの駐車場にキャンピングカーどうぞの場所がある。北海道の道の駅は車中泊を容



認しているようだ。

シシャモの町の情報にシシャモ井で早めの昼食と考えたが、レストランの漁は終了の掲示で断念。隣の日高町に競馬場ありと聞き移動。

競馬は 14 時ごろからと聞き、少し先の富川でラーメンの昼食。

戻って 14 時前門別競馬場到着。最近リニューアルしたばかりとことで綺麗な競馬場。

パドックで馬を見て、係りのおばちゃんの指導を受けて初めての馬券購入。2 人 100 円券それぞれ 3 枚購入。奥様の 1 枚が的中。



850 円なり。

機嫌よく海岸線沿いに 235 号線を南東へ。新ひだか町、様似町を通り 17 時三石の道の駅到着。雨が収まらず、襟裳岬のユースホステル民宿仙崎を予約。夕食・朝食をスーパーで弁当購入し、19 時 10 分チェックイン、本



日の走行距離 189km。

7 月 24 日(木)4 日目 襟裳岬～広尾～豊頃～浦幌町

9 時 20 分民宿仙崎出発。ガスの中襟裳岬へ。9 時半風の館到着。

展望室からはガスで殆ど見えない。

強風体験や襟裳町のビデオ見学で待機。



10 時過ぎ少しガスが上がり、海岸線が見えてくる。

岬の先端までの遊歩道へでる。岬の先も岩礁になっており、漁師さんが昆布漁をしていた。



灯台へもどり今旅行の第一目標襟裳岬で拓郎風に歌う完了。11 時 50 分襟裳を離れる。

国道 336 号線（黄金道路）海岸線の道を走る。広尾町に入りセブンイレブンで弁当を調達しシーサイドパークで昼食。

さらに 336 号線を北上。十勝川を手前の豊頃町へ。ある程度カーブある国道だが〇〇km/h のオートクルーズを解除することなく走行。車が少ない。北海道の道は走り安い。

交番で道順を尋ね、長節湖の原生花園へいく。

途中の漁港で怪我をしているキタキツネ発見。



原生花園はまあそんなもんかぐらいで、336号線に戻り、十勝川を越えてから内陸へ入り、国道38号線に右折し浦幌町に入る。根室本線が通っているためか結構大きな町。16時浦幌町の道の駅で情報収集し、裏山の森林公園キャンプ場へ。芝地の綺麗な場所を確認してオートキャンプスペースを申込み。この旅初めてのキャンプ。



近くの温泉が休みで残念だが、テント設営後浦幌駅近くのスーパーで食材を購入。

本日の走行距離152.5km。気温18度涼しい独り占めのキャンプ場で夕食。早めの就寝。

7月25日(金)5日目 浦幌町～池田町～幸福駅～紫竹ガーデン～帯広市

気温20度さわやかな朝。クラシックを聴きながら朝食。

10時半キャンプ場出発。浦幌駅前のコミュニティセンターで情報をチェックし、池田町の池田清美温泉(池ちゃん
の里??)を目的地に決定。

国道38号線から道道73号線入り、12時前池田町のワイン城の看板に反応して入る。工場見学コースに入る
が、ランチが食べられるとのことで、4階のレストランへ。和食ランチ、サラダバーにドリンクバーがついて790円。



格安美味で大満足。

見学コースのビデオで十勝ワインの歴史(池田町の財政再建)を知る。また池田町のブドウ種が清見など結構知らなかったことが一杯。勉強になりました。町民用のロゼ(町内限定販売)をゲット。池田町のパンフからスイーツもたくさんある様子、パンフ写真に見せられて2軒の店を訪ねる。そのため池田清美温泉は写真1枚でパスし、帯広の南方の幸福駅を目指す。



(この写真の意味は七遊人しか理解できないでしょう(^^))

国道 242 号線から国道 38 号線合流点の出光スタンドで給油。若い新入社員の勧めを受けて重いキャリアを外しキャンペーン洗車でピカピカ。JR 幕別駅近から道道 15 号線に入り、62 号線ととかち帯広空港近く走り国道



236 号線に出て 16 時前幸福駅着。

写真撮影のみで、10km 西の紫竹ガーデンへ。1 時間ガーデン散策。



道道 240 号線で北上し幸福駅とセットの愛国駅で写真撮影し、帯広駅前のコンフォートホテル着。



本日の走行距離 118.6km。

ガイドブックから北の屋台村の天麩羅屋さんで夕食。

7月26日(土)6日目 帯広市～千年の森～新得町～富良野市

9時半帯広駅にある観光情報センターでスイーツ巡り券を500円でゲット。

すぐ横の土産店でソフトクリームをいただく。美味しい。テレビで若乃花達がものすごく美味しいと言っていたが本当だった。

その後コーヒーゼリーに焼き菓子をゲットしてホテルに戻りチェックアウト。

バンエイ競馬場に立ち寄り、スイーツ巡り最後の搾りたて牛乳をいただく。



ここから、国道38号線に出、JR御影駅から南6kmの千年の森ガーデンへ。時折雨が降ったが約2時間たっぷり散策。



昨日の紫竹ガーデンと比べると??入場料に合わせて千円の森と呼ぶことにした。

(後で知ったが英国の風景庭園であったのかとも思うが?)

裏道で国道 274 号線(日勝国道)から国道 38 号線に出て新得町でかしわ蕎麦を食べる。

北海道の地方では昼食営業が 14 時・15 時で一旦閉める店が多い。ギリギリセーフで名物のつけ地鶏(は新得地鶏が入った温かいつけ汁にお蕎麦)をいただく。

更に国道 38 号線で狩勝峠を越え(大雨で展望は×)南富良野の道の駅に立ち寄り、富良野へ。

襟裳岬に次いで2番目の目的地富良野に入る。富良野スキー場の B&B 富良野が宿泊先。土日であり 28 日には祭りもあることで殆どの施設は満室。駅近くで夕食を買い込み、17 時 45 分チェックイン。



本日の走行距離 132.7km。

雨も上がるが、気温 17 度と肌寒い。明日の天気も小雨模様だが、雨間に期待。

7 月 27 日(日)7 日目 富良野市～富田ファーム～青い池～美瑛町～旭川市

昼前まで雨が持ちそうな雨雲レーダー。急いで朝食をすませチェックアウト。



国道 237 号線から富田ファームのラベンダー畑へ向かう。富良野駅辺りからゲリラ豪雨的な雨雲が遭遇する。8 時前到着、駐車場は数台程度と空いている。微かに雨が残っていたが雨雲も通過したようで回復に向かう。

ラベンダーはそろそろ終わりに近づいてきているが花畑が美しい。



写真のシャッターを押しまくり、ビデオカメラに携帯カメラと忙しい。

富良野メロンも最盛期の様子。FACEBOOK でいいねをクリックすると 100 円引きの 200 円のメロンを大きく美味しかった。



2 時間半強たつぷりと花畑を堪能。次いで、237 号線を北上し上富良野フラワーランドかんのへ。富田に比べると雨の降りだしもありイマイチでした。



ここから道道 824 号線で東に向かい道道 966 号線(通称白樺街道)を南に進み「青い池」に。約 20km 山に入ったところだが観光バスも止まっており多くの観光客。雨具に着替え歩くこと数分で池を発見。驚くような水の色
の池。この池は美しい。絶景のひとつです。(旭川駅観光案内でもポスター写真はこの池です。)



人造で護岸などために偶然にできたようです。車にもどりさらに奥にあるしらひげの滝を見学。ここは白金温、すぐ先に国立大雪産青少年交流の家がある。雨でなければよりたいところだが、断念し引き返す途中と白金不動の滝を見て、966号線を一路美瑛駅に向かう。この道も途中が13kmもの直線区間がある。



美瑛駅前の道の駅丘のくらで昼食。ここは美瑛駅に併設、車と鉄道の駅でした。

237号線に出て、2km先国道沿いのゼルブの丘へ。ここの展望台からケンとメリーの木が見える。またバギーで園内散策できるので、雨の中挑戦。



そして美瑛の丘をドライブ。残念ながら結構な雨のためほとんど通過状態でしたが、ケンとメリーの木、セブンスターの木、マイルドセブンの丘等 CM 撮影場所を周遊。



237 号線にもどり 20km 北上し旭川へ。

17 時旭川駅に近いサンホテル旭川へチェックイン。

本日の走行距離 125km。苫小牧から 1,000km を越える。

市内観光情報でチェックした近くの小西鮎で夕食。大ジョッキとホタテ・数の子・タラバ蟹など北海道のネタは安くて美味しい。



7 月 28 日(月)8 日目 旭川市～旭山動物園～上野ファーム～秩父別町

旭川駅前まで散歩しマクドで朝食。

9 時半チェックアウトし、約 10km にある東旭山動物園へ道道 140 号線を走る。10 時駐車場へ既に園の駐車場は満車、西門の有料駐車場に回される。

親子・孫づれなど人が一杯。近くのペンギン館入り口は既に長い行列。まずは 5 分待ちのアザラン館入る。その後しろくま館に入り、もぐもぐタイム待ち。11 時のもぐもぐタイムを待つ。待ち時間 20 分でもぐもぐタイムは 5 分

終了交代。続いてペンギン館、5分待ちぐらいで見学。ここから外周沿いに回りざっと見て回り12時過ぎ退館。

動物園のあり方を変えた館としての価値があるのだろうが、子どもにとっては面白いとは思いますがまあ普通動物園。人気のあまり人が多すぎるのが最大の難点。

140号線を少しもどり昼食を旭川ラーメン店(橙ヤ=だいだいや)へ。ここも15分程の待ち時間。



食後は140号線を北東に走り上野ファームの庭園見学。結婚式の前撮りカップルの撮影にも遭遇。なかなか素晴らしい庭園。北海道ガーデン紀行の場所でも一番まとまっていて綺麗なガーデンでした。



140号線を少し戻り、国道37号線を北上し旭川北ICから高速で西北西約30km秩父別町の道の駅を設定。深川西ICで降りて、国道47号線から道道282号線を走ると、道の駅手前でキャンプ場を発見。2組が既に設営の様子で、オートキャンプ場ではないが駐車場のすぐ側に設営が可能。今夜の宿泊地に決定。設営していると巡回の係員が集金に。1張1,000円だが道の駅にある温泉の半額券をくれた。



近くのコープとセイコーマートで食材を調達し車を駐車場の置く。

本日の走行距離 132km。

歩いて道の駅の温泉へ、初めてのジンギスカンで夕食。

7月29日(火)9日目 秩父別町～留萌市～初山別村

国道233号線に戻り日本海を目指す。1時間弱で留萌市に到着。

駅近で観光情報センターを発見し、無料WIFIもあるので情報収集。

スタッフから聞いた近くの鮮魚店でウニを購入。10個ほどで750円と激安。黄金岬へもっていき、殻と格闘し生ウニを堪能。



その後観光情報センターへ戻り、ここまでで購入した土産品を宅配手配。

ここから国道232号線(オロロンライン)は海岸線沿いを北上する。小平町、苫前町、羽幌町を通過、途中の小平町の道の駅にある鯨御殿等いくつかの道の駅に立ち寄り初山別町。夕陽と星がきれいなキャンプ場とあった情報でキャンプ場をチェック。オートキャンプ場もあったが、温泉のある道の駅隣接のキャンプ場に決定。



本日の走行距離 132.8km。

テントを設営しコーヒータ임でゆっくり夕陽を満喫。

入浴準備をして隣の道の駅に行くとレストランのオーダーストップ直前、仕方なく急ぎ夕食をとり入浴。



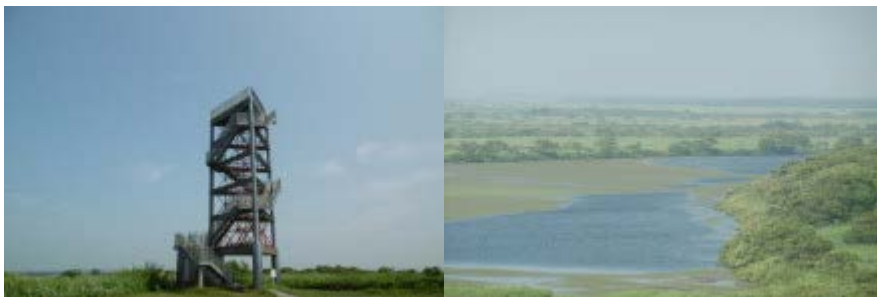
テントに戻りビールをいただく。北斗星やカシオペアがはっきりと広く大きく見える。

7月30日(水)10日目 初山別村～幌延～稚内

9時半キャンプ場出発、国道233号オロロンラインを北上。

国道が天塩町で海岸線から離れ、オロロンラインは道道106号線となっていた。少し内陸に曲がった地点で気づき海岸線沿いへ農道に入る。天塩川がジャマをして海岸線に出られない。川沿い砂利道へ迷い込むが、風力発電用の風車群が見えたり穴場の風景ポイントでした。工事ダンプに誘導されるように結局元の233号線に戻ってしまった。

少し進み国道40号線に入り道道972号線が海岸へ続く道とわかる。972号線に入るとすぐに北緯45度のモニュメントを発見。続いてサロベツ湿原の幌延ビジターセンターがあった。木道を散歩、センター反対側にある見晴らしの台に上ると広大な湿原！！！結構高くこわあーい。



海岸線の106号線に出て北上しを稚内へ。途中に2度目の北緯45度のモニュメント。ほとんどまっすぐな道をひた走り14時半、稚内駅兼道の駅稚内到着。観光情報センターで昼食をとり利尻・礼文へのフェリーなど情報収集。利尻の明日の旅館を予約し、ノシャップ岬へ。宗谷岬が有名だが宗谷湾の西端の半島部分。岬めぐりとして抑えておく。



今日の宿を探して稚内駅から比較的近い高台の稚内公園のキャンプ場に登る。開基 100 年記念塔など観光スポットにもなっている様子。



キャンプ場の駐車場はキャンピングカー等で一杯。駐車場から離れた場所なら空いているが明日の早朝フェリーを考えてキャンプを断念。ネットで探すもホテルも満室が多く、比較検討の末、駅前の ANA クラウンプラザホテルの当日限定室を予約。



本日の走行距離 156.1km。

広々とした部屋でゆっくりできそう。

アメニティもグット、シャワーを浴び駅前の海鮮の店で夕食。

8 月 1 日(金)12 日目 利尻島～礼文島～稚内

6 時半チェックアウト、6 時 45 分フェリーターミナルで車を駐車場で保管。

ここからは 1 泊 2 日の利尻・礼文島への旅。

7 時 15 分のフェリーで利尻島へ、8 時 50 分予定どおり利尻島鴛泊港着。

船からは曇り空のため利尻富士はぼやっとしか見えない。

直ぐに定期観光バスに申込み。9 時 10 分バスにて出発。姫沼、郷土資料館、オタマリ沼をそれぞれ 30 分の見学を含に島内を一周し、12 時 40 分に港へ戻る。残念ながらガスが掛かってどこのポイントからも利尻富士は見えない。



港のフェリーターミナルは「海の駅」として今年の 3 月オープン of 綺麗な施設になっている。500 円のミニウニ丼（ウニ丼は高過ぎる！手が出ない）を買う。



予約した利尻富士観光ホテルは港すぐ前なのでチェックイン前だが荷物を預かってもらい、近くのパシ岬へ。急な斜面を登り途中で食事。頂上に近づくほど強風にあおられるが、少しずつ利尻富士が見え始める。



（定期観光バスコースは、午前のコースで港に戻り、礼文に行き、午後礼文の定期観光コースを回り、最終で稚内に戻れるようになっているようだ。利尻も礼文もガスが多いようでゆっくり時間を取らないと絶景は見られないようだ。）

パシ岬山頂は猛烈な風、襟裳岬の風の館で風速 25m を体験したが、それに近い。両足を開き、写真も手ぶれでなく、風ぶれないように必死の撮影。

下山後近くを散策し4時前にチェックイン。

5時にお風呂に行くが男女とも貸切風呂。じゃらんで申し込んだ時は残り2室となっていたが??夕食の大広間で4組のセット。今日の泊りは4組???

夕食には利尻産の蝦夷馬糞生うに!美味美味。



8月1日(金)12日目 利尻島～礼文島～稚内

5時前起きると、部屋の窓から利尻富士がはっきりと見える。早起きは3文の得。しかし写真の整理作業をしているといつの間にか利尻富士が雲の中へ。

そうか、太陽があがると海面温度も上昇し霧が発生し、山沿いへ運ばれていく。そのな状況では??

朝食は、夕食とうって変わり、卵焼き・納豆・海苔など一般的ものにエビフライにカレー??

8時半チェックアウトし、9時25分発のフェリーで礼文島へ。

ほぼ快晴の絶好の天候で、利尻富士の全景がはっきりと見える。40分の船旅で10時5分香深港着。

駅前のトヨタレンタカーで軽自動車を借りる。離島料で5時間9千円弱。

まずは一番遠い北端のスコタン岬へ。ドライブウエーから眺めは車山高原のような草山の高原風景、いい眺め。

最北限の地スコタン岬、納沙布岬と宗谷岬の中間ぐらの緯度。前にはトド島がある。



岬の先端を降りたところに民宿を発見。凄いところにある。若いお兄ちゃんが食材やビールを運んでいました。(数日後の北海道新聞に道内の若者が支援活動しているとの記事が出ていました。)

絶景に満足し、東側の北端にある金田ノ岬を経由して移動。

岬で観光バスが泊まっていたので、降りて見ると、ゴマアザラシが数十頭海岸線の先にいる。その横では漁師が昆布漁の真っ最中。思わず良いと場面に遭遇。旭山動物園で並んで見えていたのに？)



西海岸の澄海岬へ。



名前のとおり、高台の展望からも海底が見える絶景でした。

次いで東の海岸線に戻り、漁協直営店のウニ剥き体験。留萌で適当に割って食べたが、これで取り出し方をマスターし美味しくいただいた。

南端の会津ノ崎に回ってから桃岩展望台へ。ここからは利尻富士が遠望できる。



礼文は利尻以上に楽しめた場所でした。

16時5分のフェリーで利尻軽油稚内へ戻る。出港前に稚内のホテルを予約。稚内港着で道を確認すると、やってしまった！！予約したホテルは留萌市。じゃらんの検索で稚内限定指定を忘れ、留萌駅まえを稚内駅前と勘違い。一応キャンセル処理したが？？(結局キャンセル料の請求な無いようです。よかった)

少し落ち込んでどうしようかと迷い。港から近い家庭的な檜風呂の情報で近くの安宿に入ったが???普通の家庭に泊まっている感じです。アットホームと言うか!玄関前に車を置けるので、オートキャンプ風というか?街中でエアコンも無いので心配しましたが!

すぐそばのセイコーコートで簡単な弁当を買って夕食。

8月2日(土)13日目 稚内~宗谷岬~雄武町

家庭的な宿でなにより家のガレージからの荷物の移動で便利。ネットも何とか接続できまあ一応それなりの宿でした。

近くのセイコーマートで朝食を買って食事。(稚内発の特急スーパー宗谷に遭遇)



ゆっくり10時前チェックアウトし、一路宗谷岬へ。国道40号線から国道238号線(宗谷国道)に入り、すぐの大沼に立ち寄る。ここではシジミ貝が取れるらしい。漁業権がないのでだれでも取っていいらしい。

238号線に戻り、途中の富磯漁港で漁協直売所を発見。ホタテが一杯&安い。(殻つきの生は持っていけないので断念)その先の出光で給油、苫小牧から1,435.1km、最北端での給油証明と記念品をもらう。

岬の手前で道道889号線に入り、宗谷丘陵から農道北進し岬を旧海軍望楼や祈りの塔がある展望広場から岬を一望。



238号線に出て岬の駐車場に、11時半宗谷岬到達。

北緯45度31分22秒、最北端の地、ここまで辿りつきましたとの思い。

駐車場には観光バスも少なく土曜日の昼なのに車やバイクも意外と少ない。日本最北端の地のモニユメントの撮影もすぐにOK。



岬の食堂で昼食をとり、238号線オホーツク海の海岸沿いを南下。猿払町(さるふつ)、浜頓別町(はまとんべつ＝クッチャロ湖がある)から枝幸町役場を超えて約80kmで、北緯45度を再通過。北緯45度とは北半球の中間地点と再認識。

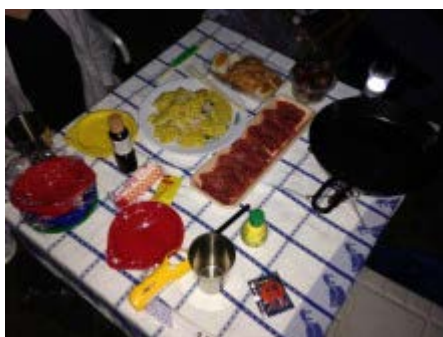
雄武町(おうむ)に入り、国道から2km弱海岸へ入った日の出岬キャンプ場に17時前に到着。

本日の走行距離194.5km、苫小牧から1,500kmを越える。

結構キャンパーは来ているロケーションはばっちりです。設営後すぐ近くのホテル日の出岬温泉へ。お風呂も海岸に面し、夕陽が綺麗。

後少し遅いと夕陽の沈む時間だが、海面が赤く染まり始めきたところ出る。

道の駅おうむでつけた宗谷肉でこの旅初めての焼き肉！満足(満腹)なキャンプでした。



8月3日(日)14日目 雄武町～興部町～紋別市～サロマ湖～網走市

明るくなり始めた4時には目が覚める。テントから顔を出すと真正面から朝陽があがりそう！

椅子を出してカメラを持ってスタンバイ。少し雲があって4時15分の日の出時間は水平線の雲の中にある様子だが、少しずつ雲間から太陽が見え始める。15分程で雲の上に朝陽があがる。

海面に夕焼けと同じように光が反射してとても美しい。キャンプならではの絶景です。(このカメラと腕では再現できない。)海岸線を散歩して、再度寝袋に入りなおす。

キャンプ場を 10 時にチェックアウト。国道 238 号線に戻り南下。

興部町の道の駅では夏祭りに遭遇。おこっぺヨーグルトなど乳製品が良い。祭り特価で買う。スモークチキンの炙りも絶品でした。



238 号線に戻り走るとオホーツクラベンダー畑を発見。丁度見頃でここのイベント準備中。

夏休み最初に日曜でいろいろやっついそう。

道の駅オホーツク紋別では、すぐ近くの海でヨットレース中。レーザー級・グラスホッパーに小学生の OP も 2 艇一緒にセーリング中でした。(ここで道の駅スタンプラリー手帳を置き忘れてしまう。)

サロマ湖手前の湯別町の道の駅でもお祭り。

サロマ湖畔で昼食を考え、道の駅サロマ湖へ。(湖畔にあると思っていたので湖が見えない?)サロマ湖は琵琶湖に次いで日本で 2 番目の大きさとのこと。(知らなんだ)ここでも帆立貝がたくさん取れるらしい。

湖東端で国道から道道 442 号線に入り、サロマ湖のナビでビジターセンターを見つけ、立ち寄る。ワッカ原生花園があるが、自転車で行けるとのことで 1 時間少し湖をサイクリング。



238 号線に出て、能取湖を回り網走湖畔を抜けて、網走駅 17 時 30 分到着。

駅前のルートイン網走に宿泊。

本日の走行距離 155.2km。

200m 程にある回転寿司かに源で夕食。

8月4日(月)15日目 網走市～監獄博物館～網走市

今朝はゆっくりホテルの朝食。食後部屋に戻るとネットが朝から繋がらない。有線でもダメ。1階フロントに降りてもダメ。ルーターのリセットを依頼すると繋がった。

いよいよメインの知床に入る計画だが、今日の午後から雨の予報と今週の天候が気になるところ。チェックアウト後もロビーのネットで天候と宿泊場所の検討。明日明後日をどうするか？キャンプは雨天を考えると厳しいし。

取りあえず、国道39号線を網走湖沿いに南下し網走監獄館へ。敷地内を回ると結構暑い。

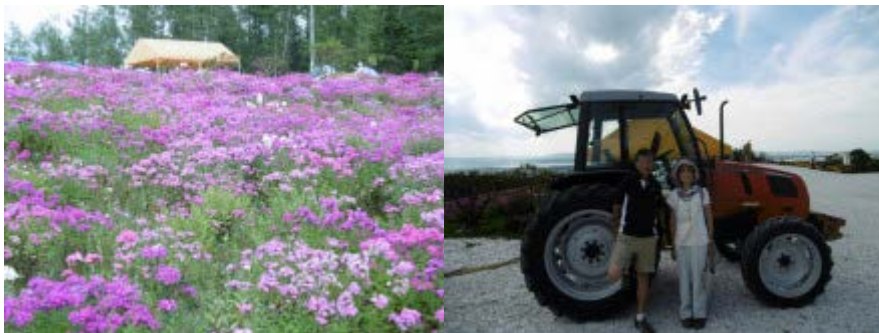


五翼放射状平屋舎房をパノラマ撮影したものです。今回のパノラマベストショット。

敷地内の監獄食堂で監獄食の昼食。お土産や監獄黒ビールです。

観光パンフに掲載されていたフロクスの丘が近いので、39号線に戻り少し南下し道道 683 号線～490 号線で15 分程で到着。

満開近い花(フロクス)に大満足。そしてトラクターで園内を一周(300 円なり)。



683 号線で市内へ戻る途中のフラワーガーデンはな・てんとの庭園を見学。



このころから雨が降り出す。結局ネット検索で網走駅近くのサンアバシリホテルを予約。

4 時前チェックイン。格安のホテルでエアコンが無い。4 階建の4階のロフト部屋。窓が小雨だが蒸し暑い。

車で 10 分程の大型スーパーで夕食を買ってホテルで夕食。

本日の走行距離 44.1 km。

部屋はいまいちだが、ローカ直ぐに強力な無線ルーターがあり快適なネットで情報収集。

明日一杯雨の予報で、知床入りを明後日 6 日として明日は知床半島の入り口、斜里町から根室海峡の野付半島に行くことにし、標津町のホテルを予約。

8 月 5 日(火)16 日目 網走市～小清水原生花園～斜里町～野付半島～標津町

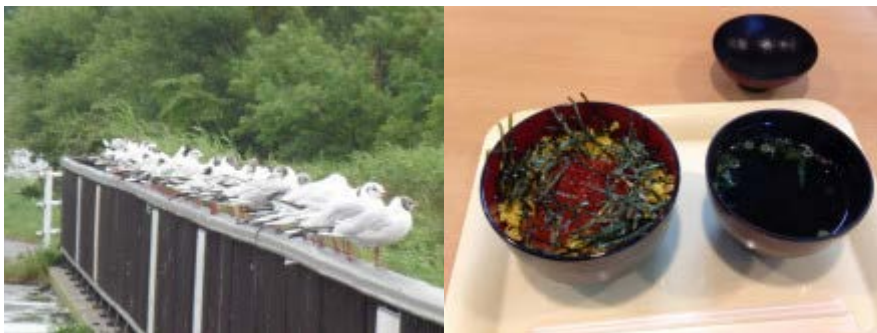
予想どおり昨夜からの雨が降り続く。なおも北海道の中間帯が西から東にかけて大雨の様子。今日の宇登呂方面は雨。7 日に期待し、6 日～7 日を知床として 6 日に知床プリンスホテルを予約。

10 時前にホテルを出て、国道 39 号線で網走港にある道の駅オホーツクへ。

ここは流水観光船オーロラの乗り場がある。ここから国道は 244 号線になる。

海岸線を走り湯沸湖で周遊できる道道 767 号線で一回り。

湯沸湖で見かけた鳥チームです。



244 号線に戻り JR 浜小清水駅に引っ付いている道の駅小清水でミニいくら丼を食べる。

少しもどり原生花園へ。(ここも修学旅行で来た場所)ここは夏期だけの原生花園駅が隣接している。北海道東部の豪雨で網走までの特急がストップしているとの放送。



少し散策してから 244 号線～道道 769 号線で JR 斜里駅前の道の駅斜里へ。ここで知床情報をチェックした後、近くのスーパーで買い物。ツブ貝をさばいてもらい昼食に。

ここから 244 号線が根室海峡へ続いている。標津町役場を過ぎ野付半島に行く道道 950 号線（フラワーロード）に入り先にある野付岬へ向かう。

立ち枯れの樹林やシカに会い、ここも素晴らしい自然の風景に大満足。



道は半島センタ部分までは無く竜神崎と呼ばれるポイントで終了。少し戻るとネイチャーセンターがあり、展望デッキからさらに自然風景を満喫。このあたりではほぼ雨もあがる。（予想どおり）国道 244 号線に戻り標津町の旧国民宿舎のホテル楠に 16 時半チェックイン。本日の走行距離 158.3km。

古い作りだが、温泉は石鹸をつけたようなすべすべ。そして



標津町は鮭が名物。夕食に珍しい鮭の兜煮が登場。(鮭の兜煮を食べると、20歳の肌と細胞に変身する!とある)温泉と食事でお肌つるつる。

8月6日(水)17日目 標津町～羅臼町～知床五湖～カムイワッカの滝～ウトロ

いよいよ知床入り。5時前に起きると朝陽が見える。雨も上がって雨雲レーダー情報等でも今日は○を確認。急ぎ準備し、6時チェックアウト。近くのセイコーマートでパンとコーヒーを買って、○○kmのオートクルーズで根室海峡に沿って国道335号線を北上。

羅臼町から国道334号線知床横断道路でウトロ側に出て道道93号線に入り知床五湖に向かう。雨は上がったものの羅臼町あたりから霧、知床横断道路はかろうじて中央の白線が見える程度。羅臼岳を見渡せるポイントも全く何も見えない。



8時前にフィールドハウス到着。まだ数台程度が来ているだけ。



地上遊歩道に入るには一人250円のチケットを購入して申請書を提出。約10分のレクチャー(熊に出会ったときにどうするか)を受け、散策スタート。霧が出たり上がったが、雨でなく未だラッキー。5湖から4・3・2・1湖の順に回る約3kmの道。少しずつ霧も上がるが、知床



連山を一望するまではいかなかったが、打美しい自然路で満足。2 時間かかりフィールドハウスに戻る。

この後カムイワカの滝に行くため車を約 7km 戻ったところにある自然保護センターへ。ここからシャトルバスを待ってカムイワカの滝へ行く。(8 月 1 日からはマイカーでのアスキスが禁止になっている)バスで 40 分滝に到着。

ここは原泉 70 度の噴出する温泉が川に流れ込み 30 度位の水温で流れる滝で、沢登りのように歩いて行ける。足湯よりもっと気持ちの良い場所でした。



30 分少し歩きシャトルバスで 5 湖に戻り、今度は自由に入れる木道コースから連山をみるが、午前より霧は上がっているがやはり山頂は見えず。

再度シャトルバスで自然保護センターへ戻る。途中でキタキツネ発見。自然保護センターでバーナーを出してカップ麺で軽い食事をして 334 号線で知床の中心街ウトロのホテルに向かう。

ここでもキタキツネに出会う。人からエサをもらっているようで、人間に慣れすぎ。



今日の宿は知床プリンスホテル風なみ季。本日の走行距離 102.2km、苫小牧からの距離も 2,065km。

初めてのバイキングの夕食。食べ過ぎ！



しかしこのホテル稚内の ANA ホテルなみの迎に立派なロビーなど部屋も広くグッドなのですが、インターネットが部屋にない、wifi もない、1階ロビーのみの対応でチェックイン後行くと SSID が見つからない。テーブルの説明を見ると 19 時～翌朝 12 時のみとなっている？どういう考え？？チェックイン 15 時からダメでチェックアウト後 12 時まで OK？？使うなということかなあ。

8 月 7 日(木)18 日目 ウトロ～知床クルーズ～オシンコシン滝～清里町

6 時の目覚めでは雨。朝風呂に入り、またもバイキングの朝食に懲りず食べつくす。食後には雨も上がり、山も見えてきたので港に向かい 10 時半の船で知床クルーズへ。400 人乗りの大型船だが、網走までの JR が不通だったり朝からの雨もあるのか空いている。ゆったり海から知床半島を見学。昨日行ったワッカの滝が海注ぐところまで片道 45 分のクルーズで満足。



寄港するころ少し雨が降りまたが、ぐずつく予報からはラッキーでした。車に戻り山に少し霧が出始めてきたが、昨日見ることが出来なかった羅臼岳を見るため、334 号線知床横断道路を戻る。霧との勝負でぶっ飛ばす。峠のパーキングに到着で、かろうじて間に合った。



羅臼岳も羅臼側の海も見ることができたが、ものの数分で雨。

ウトロの道の駅に戻り昼食。今日は夜中に雨の予想で、キャンプを断念し車中泊に決定。道中にあるオシンコシンの滝をナビでセットするが見当たらない。旧道に回ってもナビの示す位置には何も無い。オシンふしん。あきらめて走ると 5 キロほど先に案内とパーキング発見。ナビに遭われたしまった。334 号線沿いのパーキングから 50m ほどの階段を上ったところ。天滝のような滝でした。



334 号線で斜里町中心街で出て、釧路本線に沿って走る道道 1115 号線で摩周湖手前の清里町に向かう。道の駅パラスランドさつるへが最近できた新しい施設。温泉とレストランと wifi があり、休息室もありここで車中泊。



本日の走行距離 92km。

8月8日(金)19日目 清里町～男鹿の滝～神の池～裏摩周展望台～川湯温泉

5時頃一旦雨があがったが、直ぐに雨。午前中は雨模様。ここでゆっくり。しかし、この「パパスランドさつつる」道の駅は良い場所だ。車中泊にもっとも適していると思う。昨年4月オープンのため、道の駅で車中泊(北海道)にも載っていない。温泉がある。露天風呂もあって390円と激安、無料の足湯は24時間OK、21時まで営業のレストランに休息室、ドッグランがあり、隣にコインランドリーもある。wifiが使い放題。(3つのアンテナで駐車場からもOK=24時間大丈夫、知床プリンスと大違い)



向かいに斜里山を綺麗見える絶景。道道1115号線沿いだが通行量が少なく静か。(よく眠れる)雨待ちで朝風呂に入り、休憩室で朝刊を読みテレビでニュースを聞きながらビールと入浴割引のソフトクリームとをいただく。(もう一泊していいかなあ?)

今日明日の雨模様から川湯温泉の国民宿舎の訳あり格安ホテルを2泊確保。

最高の道の駅に感謝して、12時半出発。

まずは男鹿の滝へ。観光案内に「川でなく岩から染み出る滝」とある。どんな処か??1115号線を少し走りJR緑駅を過ぎて左の林道に入り斜里川沿いに15キロ砂利道を走り朝拭いた車がまた泥だらけ。やっと到着すると熊に注意。車止めから道があるがどの程度あるか案内がない。小雨の中傘をさして歩く。400～500mで滝が見えて一安心。確かに染み出ているが、凄い流れの部分がどうなっているのか?上に登れるとよいが?



1115 号線に戻り 3km 程南にある清里町おすすめのスポットの神の池へ。ここは摩周湖から流れる水がたまったところらしい。青い池の中の倒木が腐らないで残っている。



ここから少し走り清里峠から道道 150 号線で裏摩周湖展望台へ。雨は収まらず、湖面の小島が微かに見える。



摩周湖を回って川湯と考えていたが結構遠い。結局 1115 号線に戻り国道 391 号線に出て、川湯温泉に移動。川湯温泉に入り車の一周すると寂れた温泉街。国民宿舎で訳あり格安とあったので不安の中、温泉街中心のホテル川湯パークへ。公園の一角に入り込んだ場所で、エコミュージアムなどがある自然公園。この辺りだけなんだか信州の高原リゾートのような雰囲気。ホテルもまずまずに wifi も OK。部屋もバストイレが無い以外は、新しい畳の香りに何処が訳ありなのか？？まあ満足です。今日はコンビニで食材ゲットして部屋食。明日の天候に期待。本日の走行距離 110.1km。

8 月 9 日(土)20 日目 川湯温泉～屈斜路湖～美幌峠～津別町～オンネトー～阿寒湖～摩周湖～川湯温泉
昨夜の雨もあがり、陽が差してくる。ホテル前の公園散策路を回り、足湯へ。原泉掛け流しの足湯。原泉温度が 41 度～43 度なので足湯としてはベスト温度。半時間近く浸かってホテルへ戻る。



10 時前出発。道道 52 号線で屈斜路湖へ、湖岸の砂湯をのぞいてから国道 234 号線で湖岸を北上し美幌峠に上る。屈斜路湖だけでなく反対の側網走方面まで 360 度の展望、絶景。234 号線を少し戻り湖岸から道道 588 号線に入り津別峠へ。ここは美幌峠より高度が高く隠れた展望施設。お城のような展望台が設置されていたが、残念ながら到着時に霧がかかり何も見えない。

588 号線を津別町に下りる。津別町は愛林の町、町のシンボルになっている木材工芸館を見学。

ここからは国道 240 号線で南の阿寒湖方面に向かう。阿寒湖で国道 241 号線(足寄国道)へ曲がり 7km ほど進んで道道 664 号線に左折してオンネトーへ。雌阿寒岳と阿寒富士に囲まれた美しい湖。大きい湖よりはるかに美しい。現在までで最高の湖です。



湖岸を半周、奥には国設のキャンプ場もある。(次回はここでキャンプしよう)

240 号線へ戻り阿寒湖へ。この 240 号線はまりも国道と呼ぶらしい。

昼食の店を探す、湖岸の店はほとんど午後の休憩時間帯。観光案内所で営業している蕎麦を確認して遅い昼食と湖岸で写真 1 枚撮影して移動。

240 号線は阿寒湖東端から南下となり摩周湖へは 241 号線(足寄国道)になっている。

約 8km で双湖台展望台に到着。ここからペンケトーとパンケトーの展望。

ここは 40 年前の修学旅行で見て景色の美しさに感激した処。ここで見た景色がずっと目の中に焼きついている場所。

241 号線を進み、弟子屈町に入る。道の駅摩周に立ち寄り、国道 231 号線に少し入ったところから道道 52 号線で摩周湖に向かう。

17 時半前摩周湖第 1 展望台到着。霧もなく素晴らしい景色、対岸の峰の上に斜里岳も綺麗に見える。夕方でも観光客も少なく。ゆっくり写真撮影。



そして 3.5km 先の第3展望台へ移動。ここは反対の屈斜路や阿寒湖方面の眺望も抜群。

1 時間近く素晴らしい夕陽に染まる摩周湖を堪能。今日は本当に天候にも恵まれ最高の景色で満腹。



52 号線を下ると国道 391 号線の川湯温泉入り口。ホテルに戻り温泉に浸かってから温泉街の居酒屋源平で夕食。本日の走行距離 226.9km。

8 月 10 日(日)21 日目 川湯温泉～硫黄岳展望所～摩周駅～風連湖～別海町

朝から断続的に停電?? 当然ネットも繋がらない。チェックアウト前の復旧で何とか接続でき、天候や今夜の宿をチェック。明日は一日雨の様子。今日は取りあえず姉妹都市別海町のホテルを予約。

川湯温泉ホテルパークは格安で観光の基地には最適でした。

10 時チェックアウト、道道 52 号線を昨日と反対に進み国道 391 号線へ。

国道手前で硫黄の煙と開けた場所に遭遇。硫黄岳展望所。ここは硫黄が噴き出ているすぐそばまで行ける観光スポット。(観光バスも一杯)昭和神山などよりはるかに良い眺めです。反対側の摩周湖方面まで一望できる。



観光パンフ出していた小さな沼キンムトー(湯沼)に行く。

391 号線をから林道を走ること 5km、小さな沼だが期待ほど湖面が綺麗ではなかった。



近くにボッケの案内板があり100mとの案内だがわからない。そのまま林道を5km進み屈斜路湖畔の道道52号線に出る。ここから国道234号線で摩周湖駅に移動。「るるぶ」に出ているに店で豚丼昼食。

234号線(パイロット国道)をひた走り、根室海峡の風連湖へ。

別海町役場を過ぎて道道364号線で海岸線へ。野付半島を訪問してから5日目で根室湾戻ってきた。国道244号線をほんの少し走りで風連湖の案内にしがたい湖岸の道道475号線ハマナス道路に入る。



湖岸はサバンナを思わせるような風景が広がる。ナビの道に沿って進むと走コタン地区で終点。しかしそこは漁港で観光スポットでもない。少し戻り、根室海峡側に出ている地域が先端まで道があるよう進む。約8km先端部分に着いた。対岸の根室半島がすぐそばに見えるが、ここも釣り人が2組だけ観光スポットでもない。物好きが来る場所だが、こんなとこまで走行できるので大満足。

244号線に戻り6km程進んでから農道らしき道に入り別海町役場に近い国道243号線へショートカット。町営の宿泊施設べっかい郊楽園にチェックイン。本日の走行距離165.5km。温泉に入り夕食にはなぜかエビチリに麻婆豆腐?(料理長が中国人らしい)台風11号の影響で今夜半は大雨。

8月11日(月)22日目 別海町～風連湖～春国岱～根室市

早朝から台風情報チェック。ウェザーニューズで北海道東部の気象レーダー画像が出ない。気象庁ページも同様??? (このトラブルは夜のニュースにも出ていました。)午前中にも雨も上がりそうなので、根室のネット接続できる民宿を予約し、10時出発。枚方の姉妹都市なので町役場で記念撮影。



役場の案内でべっかい牛乳について尋ねると近くに製造工場があって見学できるように連絡してくれた。突然の訪問にもスタッフが丁寧に案内してくれた。ここでは乳製品づくり体験ができるとのこと。実習室でアイスクリーム作りの様子を見学すると表示板の利用者名の下にバニラ 10kg 抹茶 5kg チョコ 5kg とある。

1 回に最大 20kg (100ml のカップを 2,000 個) まで作れる。材料費 8 千円程度と器具使用料や指導料も格安、2 か月先まで予約は埋まっているとのことでした。



明日の朝食の牛乳やヨーグルトなどを仕入れ根室へ。国道 243 号線を南下し厚床から国道 44 号線(根室国道)に左折し風連湖の南端の道の駅スワンに立ち寄る。望遠鏡で丹頂鶴を発見。道の駅から 5km のネイチャーセンターの看板に従うと小さな橋があり砂州に入れる。車を止めるとここが春国岱らしい。木道が整備されていて面白そう。台風の影響で強風が残る中、砂州の木道を散策。途中でキタキツネにも出会う。砂州の奥は立ち枯れの木々など恐竜時代のような風景、ここも絶景絶景でした。



44 号線に戻り根室市内に入る。国道沿いでホームセンターを見つけ車にこびりつく虫取ペーパーを買う。同じ場所にでかいスーパーホクレンがありチェックすると魚介類が格安。惣菜のお寿司は普通だが刺身は格安。ついつい買ってします。44 号線で根室駅近くから少し北に入った今夜の民宿をチェックし漁港に近い道を進む。なにやら祭りの音と交通規制。ねむろ金毘羅神社例大祭をやっている。規制の道を外れ 44 号線の道にもどり直進すると公園を見つける。明治公園でバーベキューコーナー完備の場所、ここでノンアルビールに刺身の昼食。ここは無料のバーベキューコーナーが凄い。ゴミや灰処理場も完備。



15 時過ぎ民宿にチェックイン。本日の走行距離 66.6km。少し休憩して祭り見学にでる。少し肌寒い。テキ屋の屋台が一杯。3 日間の祭り最終日で山車は神社入りが終わって、先太鼓とお囃子の車の列を見ることができた。



今日もいろいろ体験でき満足・満足。民宿に戻りお風呂に入り、民宿の夕食。



8月12日(火)23日目 根室市～納沙布岬～花咲港～霧多布岬

部屋で朝食後、根室駅前まで散策。日本最東端の駅の切符を購入。



宿の主人のお勧めの店で花咲蟹を買う。花咲蟹は余り大きいものより中くらいや小さいものでも味が濃くて美味しいそうだ。宿の戻り9時半チェックアウト。一路納沙布岬へ向かいが国道は無い。宿から漁港近くに出て道道35号線で根室半島北側海岸線沿いに進む。知床半島は羅臼岳など知床連山のある山の半島に対して、根室半島は山がなく平らな半島。日本で一番早く太陽が昇る地。



途中のノッカマップ岬に立ち寄る。車は入れないので、500m 程歩く。

納沙布岬手前にそびえるオーロラタワーに登る。直ぐ前に歯舞諸島が見える。(北方 4 島とは国後、択捉、色丹、歯舞の四つの島と思っていたが、歯舞は小さな島の集まりとのこと、改めて認識)



タワーから岬は直ぐ、灯台の側にも駐車場がある。風が強いがタイマーで記念撮影。

ここから 35 号線は半島南側に回る。歯舞漁港をとおり明治公園手前で道道 310 号線に入りの JR 根室本線沿いに花咲漁港を目指す。花咲港東端にある車石に立ち寄ってから漁港そばの賑わっているラーメン店で花咲ギキのラーメン & チャーハンで昼食。



花咲からは道道 780 号線～道道 142 号線と初田牛駅駅まで根室本線と平行して走る。初田牛駅から 142 号線は海岸線沿いを通る。浜中町から道道 123 号線(なぎさのドライブウェイ)となる。そして浜中町役場がある島に入り島の北端の渡霧多布岬へ。15 時半岬のキャンプ場到着、風が強いのでキャビン进行。



網走の個室サイズだがログで出来ているのでまあまあ。(1,200 円と格安) 早め到着だが後から続々とやってくる。バイクのキャンパーが多い。2km ほど手前にある温泉に入り、セイコーマートで夕食材料を買う。キャンプ場へ戻ってキャビン横で風を避けて夕食。根室で買った花咲蟹が美味。しかし寒い。気温 16 度、今回初めてダウンとオーバーズボン。本日の走行距離 154.1km。

8月13日(水)24日目 霧多布岬～霧多布湿原～愛冠岬～厚岸町～根室湿原～達古武湖

4時に目が覚める。夜の寒さから心配したが早朝の気温も16度と変わらない。少しないだようで寒さは感じない。朝陽に期待したが、外は一面のガス状態、諦めて寝なおす。岬の先端まで散策し。9時半チェックアウト。

岬を出て道道808号線MGロードで霧多布湿原センターを訪問。こんなところにも広い湿原がある。

道道123号線北太平洋シーサイドラインへ戻り海沿いに厚岸へ。

途中で給油と洗車。厚岸手前の道道955号線で厚岸湾にある愛冠岬(アイニニックアップ)に向かう。駐車場から500m程歩き、愛のベルのモニュメントで記念撮影。



123号線に戻り少し進むと厚岸駅手前で賑わう漁協直場所を発見。買った牡蠣をその場で食べられる。2人で4個買って試食。美味・美味！夕食用にも買う。

123号線は先で国道44号線に合流。道の駅厚岸グルメパークで昼食と立ち寄ったがレストランは60分待ち、諦めて厚岸駅前に戻り雑誌に掲載された牡蠣弁当に行くがここも売り切れ、ご飯が炊けるまで40分待ちとのこと。結局近くのイオンで弁当を買う。

44号線に入り食べる場所を探すが適当なところが無い。JR別保駅手前から道道1003号線に入り釧路湿原方面に北上。国道391号線に出て達古湖手前で左折して地道を雑誌に出ている湿原展望台のある細岡に向かう。

釧路湿原駅(夏期だけの臨時駅)を過ぎるとビジターセンターがありここで遅い弁当昼食。

200mほど歩くと細岡展望所に到着。ここから見える釧路湿原は本当に広い。ケニアで見た草原にも似ている。雄大さに感動。



地道を戻って 339 号線に出て達古武キャンプ場に到着。

本日の走行距離 132.3km、苫小牧から 3,013km。

お盆の時期でオートキャンプは満員だが、フリーサイトなら利用できるのでテントを張る。



夕食は、厚岸の牡蠣、ウニ、北海島エビ、真つぶ貝でビールが美味しい。



8 月 14 日 (木) 25 日目 達古武湖～釧路川カヌー～釧路湿原ノロッコ号～釧路市～達古武湖

近くの若者テントが夜中まで大声で眠れない。ファミリーキャンパーが多いところはマナーの悪い奴も多い。どこから一喝され静かになったが、早朝 4 時過ぎから起きて話し出す。困ったものだ。

朝食後キャンプ場スタートとなる整備された 2.3km 木道を歩き夢ヶ丘展望台へ登る。結構虫も多く最後に 180 の階段が待ち受けてハアハアで展望スペースに到着。テレビや雑誌でよく目にする釧路川大きな S 字カーブと近くを走る網走線の線路がよく見えるスポット。電車が通れば写真に最高だがそうは本数がない。



帰り道で今回初めてのエゾリスを発見。11 時過ぎにテントに戻りビールで汗を流す。カップラーメンで軽い昼食をとり 12 時から釧路川カヌーツーリング。

キャンプ場から10km程北にある塘路湖ほとりにあるスタート地点までカヌーを引っ張り車で移動。国道391号線から少し入った塘路湖畔にカヌーを浮かべスタッフの田中さんと3人で出発。湖畔から直ぐの釧路川支流に入って国道・JRの下をくぐり500m程で釧路川に入る。川面からの眺めは違った味わいで楽しい。台風の雨後で少し水が濁っていたが、キャンプ場あるの達古武湖まで約2時間素晴らしい体験。丹頂鶴やオジロワシやシカも直ぐで見えたぞ。



テントに戻り、昨日の来た道に戻り細岡展望台手前にある細岡駅へ移動。駅前に車を置き15時33分発のノッコ号に乗車して釧路駅に向かう。



1日2往復の観光列車で次の釧路湿原駅からは多くの観光客で満席。約40分で釧路駅到着。駅前のよく雑誌などで紹介されている和商市場の勝手井を食べる。根室の蟹屋さんや厚岸漁協の比べる観光客目当てようでもあそんなもんかなぐらいの処でした。



駅に戻り観光案内で聞いた風呂屋に行くが閉鎖されている。ネット検索した駅裏へ移動。はあはあ。やっとなついた
栄湯は湯温が 45 度はありそうでなかなか湯船に入れない。帰りの汽車まで時間がないので急ぐ。

駅まで 500m ほどだが、駅裏のため地下道で迂回させられる。そんなに本数のない駅なのに駅が大きいのでこんな造りになっているが??? 18 時 51 分最終前の汽車で細前駅に戻りキャンプ場へ帰る。

本日の走行距離 15.4km。戻ると昨夜以上のテントの数。市場で買った数の子と蟹身でビールが美味しい。

昨夜に比べ夜露も少なく、気温 16 度は変わらないが比較的温かい。

8 月 15 日(金)26 日目 達古武湖～釧路湿原～鶴居村～釧路湿原展望台～白糖町～本別町～足寄町

キャンパーが多いとマナーの悪い連中も多くなる。昨夜も夜中まで大声で騒ぐグループが近くに。テントの外でふざけ合っているのでトイレがてら注意。テント撤収し 9 時 25 分キャンプ場出発。釧路湿原を周遊して展望台巡り。

国道 391 号線に出て昨日カヌーの出発点であった塘路湖近くのサルボ展望台へ。入り口を見失い 10km ほど先で気づき戻る。391 号線の大きなカーブ地点に駐車場を発見。この展望台は駐車場からのルートが大雨で通行できず通常ルートの反対側から上るようになっていた。急な坂道を上がり尾根づたいに歩き 300m ほど進む展望台に到着。昨日のカヌーコースが双眼鏡で確認できた。

駐車場から直ぐに道道 1060 号線で湿原内に入る。少し進むと未舗装道。り釧路川沿いに北へ。湿原内の道を走れるとは感激しながら爆走しコッタロ展望台へ。ここの駐車場で観光バスが来ている。



ここから北へは舗装道路でした。1060 号線を北上し国道 274 号線に出て少し走り、道道 53 号線に出てぐると湿原北部から反時計回りに回る。53 号線を南下して達古部湖のちょうど反対側付近に温根内ビジターセンターがある。駐車場から降りたビジターセンターから周回できる木道 2km を散策。



駐車場に戻り3km程南にある釧路湿原展望台へ。ここは展望棟に入るのは有料??。駐車場で北海道限定の「どんべえ」で腹ごしらえし、無料の周遊コース(2.5km)にある北斗展望所へ行く。階段木道が整備されて歩きやすい。展望所からの眺めはこれも絶景でした。

釧路湿原 2泊3日で大満足。これで当初計画ルートは終了。

ここから札幌までどうするか?53号線から海岸沿いの国道38号線に出てセブンイレブンでネットで検索し足寄を目指すことに決定。

16時過ぎスタートし80km先の足寄の道の駅を目指す。白糖町から国道382号線に入りいっきに加速して北上。国道は途中から274号線日勝国道になっていた。本別町で国道242号線に入り1時間少しで到着。

しかし駐車場は満杯???駅の中の情報をチェックすると今日は祭りで19時ごろから花火大会、なっとく。しかしその影響で近くの宿や電話で問い合わせたパンフにある宿もことごとく満室。あきらめて車中泊に決定。

2km手前の足寄温泉で風呂に入り、道の駅裏のスーパーの駐車場へ。丁度花火が始まる。ここでもよく見える。隣に同じLLBEAN仕様のアウトバックと花火見学。



1時間ほどで終了し、道の駅の駐車場に戻ると空いてきている。照明状態などチェックし適当な位置に駐車。スーパーの食材とビールで夕食。本日の走行距離193.8km。

8月16日(土)27日目 足寄町～上士幌町～糖平湖～然別湖～音更町

静かな駐車場で車中でもゆっくり寝ることができた。8時オープンの道の駅の直場所で湯でトウモロコシなどで朝食。行先をネット検索し、帯広に近い音更町のビジネスホテルを予約。せっかくなので道の駅から近い松山千春の生家で写真をとって移動。



242号線を少しもどり国道241号線へ右折し足寄湖を通り取りあえず士幌町へ。

士幌町の道の駅で見た旧国鉄廃線の橋梁跡群ポスターに感激して糠平湖へ行くことに。241号線に戻り上幌町役場近くの食堂で昼食。ここでも情報聞くと10か所近くの橋梁があるようだ。国道273号線に入り北上し糠平湖へ。パンフを見ると最初の橋梁を通過してそうだが案内がない。湖畔を進み三の沢橋梁のパーキングを発見。降りてあるくが？出会った人に聞くと今通ったところが橋。下に下りて見上げるとわかるらしい。なるほど？！

少し進みタウシュベツ川橋梁へ。ここもパーキングも道横に少しある程度。100mほど歩くと湖の展望スペースに出る。石のタウシュベツ川橋梁を遠望。ポスター写真ほどではないがまあまあでした。



さらに進み第六音更川橋梁まで行って戻る。途中で廃線になったほろか駅舎で記念撮影。



糠平湖南端まで戻り道道85号線の山道ルートパルススカイラインに入る。20km程で然別湖に着く。湖岸に足湯があり、魚が一杯。



(看板に昭和60年6月から当面の間は全面禁魚とある。相当当面である。)ここから下りで扇ヶ原展望台が途中にあり帯広一体が望める。ここでも駐車場にキタキツネ登場。(もういいぞ)

下りきって国道241号線に出て音更町のホテルに向かう。18時ホテルに到着、小さなホテルだが格安と国道沿いで多くの店が近い。

ゆっくりしてシャワー後に近くの回転鮎羽衣まで歩いて夕食。なかなか面白いメニューでした。いよいよ終盤の日程を検討。本日の走行距離 186km。

8月17日(日)28日目 音更町～柳月～日勝峠～日高町

久しぶりのベッドでぐっすり寝ることができた。2km 先のマックで朝食。

ホテルに戻りこの後のスケジュール検討。帰りの新日本海フェリーが函館発ばかり思い込んでいたが、小樽か苫小牧東発。札幌～小樽～函館と考えていたが、函館～札幌～小樽に変更。体力も持ちそうなので帰りを当初計画どおり8月25日の船に決定し予約を入れる。ここでチェックアウトタイムになりそうなので1時間延長をお願いし、ブログ更新と明日からの今日の宿チェック。日高に温泉側の沙流川オートキャンプ場があり、問い合わせると空いている様子なのでここに決定。

11時チェックアウトとし、国道241号線を少し北上し音更帯広ICに南にある柳月スイーツガーデンに行く。人気のパーククーヘン等は賞味期限から持ち帰れないので、ケーキを買って無料のコーヒーをいただく。ケーキはどれも格安。なめらかプリン180円、ブルーベリーレアチーズ240円。シュークリームなんかは70円と激安。大阪で買うと倍はしそう。美味しくいただいて、キャンプ場でのデザートにも買い込み12時半出発。



241号線から道道75号線経由で国道38号線に出る。キャンプ場周辺の店が今日は休みと言われていたのので、スーパーフクハラ食材調達。昆布盛産の牡蠣をゲット。このありの38号線は7月26日に帯広から富良野に向かった道、御影駅から国道を離れ例の千円の森北側の道道55号線で日高国道274号線に出る。274号線を今回は南へ。石勝峠の展望台十勝平野を眺めて15時過ぎ日高町の道の駅に到着。人は多いが確かに店はしまっている。241号線と反対方向へ道道847号線で沙流川を渡るとキャンプ場。直ぐそばに国立日高少年自然の家がある。本日の走行距離ジャスト100km、苫小牧から3,500kmを越える。

オートサイトもペット同伴サイトや電源サイトなど3種類。サイトを見回って広めのBサイトに決定。車2台の2家族向けサイズ。今旅初めてビッグタープを張ってゆったりキャンプ。



設営完了し、柳月で買ったケーキで優雅にティータイム。



日没後キャンプ場向かいのひだか高原荘の温泉に入る。

フクハラで買ったサーロンインステーキと昆布森の牡蠣で夕食。牡蠣がどれもでかく最高で大満足。



(でもこの牡蠣の焼きがあまく翌日に影響)

8月18日(月)29日目 日高町～夕張市～由仁町～北広島市～定山溪温泉

静かなキャンプだが鹿追の爆竹が20分に1回は爆発、夏の時期だけこうなるようだ。ペット同伴サイトもありそれぞれのスペースが広い温泉隣接のキャンプ場で我が家のスタイルにはベストだが、少しだけ残念。ごみの分別もエコ以上に厳しい＝難しい。

撤収し10時前スタート。

274号線を西に走り夕張市に到着。道の駅に立ち寄り、国道452号線で夕張駅方面に北上し道道38号線に入り幸福の黄色いハンカチの撮影場所を探す。



有料の見学施設でした。少し先に進み道道 3 号線で西へ JR 室蘭本線の由仁駅近くあるガーデンを目指す。一旦国道 234 号線にでるが由仁駅から 3 号線に入り少し南へ下るとゆにガーデンに到着。リナニアが有名ならしいが時期が過ぎていた。英国式庭園で芝が見事ではありました。



3 号線に戻り更に西へ。274 号線に合流して直ぐに道道 46 号線を南下して北広島市に入る。ここで久しぶりにラーメンの昼食でいざ定山溪へ。

道道 1080 号線で東に進み高速を超えて国道 36 号線に入る。札幌ドームを左折しえ道道 82 号線を通って国道 230 号線へショートカット。約 20km で定山溪温泉。ここは関西の有馬温泉のような場所。

大きな温泉旅館が一杯、今宵はちょっとリッチに第一 寶亭留翠山亭。



原泉温度が 70 度、近くの前泉ポイントの足湯に入るが少し熱い。ホテルの温泉に入るとさすがに老舗の温泉、その風呂の広さと造りに感動。夕食の終わりに近くにホテルから上がる 5 分間の花火も席から眺められ結構でした。



しかし、なかなかのホテルだが、部屋のクーラーが異常、23 時過ぎフロントに連絡し、結局部屋を移動する羽目に。

8 月 19 日(火)30 日目 定山溪温泉～北大～札幌市

北海道上陸から今日で 1 ヶ月。昨夜から体調不良。風邪ではなさそうだが頭痛と少しだるく微熱。(日高のキャンプ場で食べた牡蠣が原因＝殻周辺を身と一緒に口に入った)

しかし折角の温泉なので朝風呂再度、そして朝食。

札幌市内のホテルを 2 泊予約。結構雨が降っている。ギリギリの 10 時チェックアウト。国道 230 号線に戻り小金湯温泉の駐車場で薬を飲んで 1 時間程休む。230 号線から道道 452 号線に入り北海道大学の正門に 12 時半到着。観光での駐車禁止の看板で近くのコインパーキングに駐車。傘をさしてキャンパスに入る。さすがに広い学舎。

まず腹ごしらえで静かな主に教員が利用していそうなレストランに入る。札幌グランドホテルが委託で経営している様子。ランチとクラーク野菜カレーをオーダー。辛いが安く、イイ。



雨が止まないが、ポプラ並木とクラーク像は外せない所以で写真撮影。



総合博物館で歴史を見て出る。教員数 4 千人弱、学生 18 千人と神戸とそう変わらない。しかし雰囲気は断然イイ。平地なのに学内循環バスもある。(うらやましい)

ここからすすきのにある今夜からの宿札幌第一ホテルに向かう。2 時からチェックイン可能なので 2 時半到着。本日の走行距離 31.4km。

夕方まで休む。少し寝られたこともあり夕刻には体力回復。風邪でなくよかった。

大通公園など中心街まで歩いけるので、観光雑誌をもってすすきのへ。るるぶに掲載された小さな回転寿司で夕食。北海道で 3 回目の回転寿司だが一番リーズナブルで美味しい。

8 月 20 日(水)31 日目 札幌市

朝食前にホテル近くの中島公園を散策。

朝食後徒歩で、大通公園～テレビ棟～時計台～北海道旧庁舎～札幌駅～大丸～二条市場(昼食)～千歳鶴～ホテルへ初級者コース散策。



16 時過ぎホテルに戻り 1 時間程休憩。前職時代のバイトさんで札幌在住のNさんと 18 時にすすきので夕食。その後テレビ棟に登り夜景を見て地下鉄でホテルへ戻る。



今日は初めて一日車に乗らない日でした。

8 月 21 日(木)32 日目 札幌市～大倉山シャンツェ～留寿都村～豊浦町～長万部町～大沼

10 時チェックアウトし、4km 程北東にあるサッポロビール博物館へ。セブンイレブンで売られているブラウンビールを買う予定が、博物館スタッフもあまり知らなく、コンビニ限定でここでも買えない？



あきらめて、丸山公園に向かい大倉山のジャンプ台を見学。リフトでジャンプ台に沿って上がるが、斜度表示は 35 度となっているが 60 度の傾斜のように感じられる。



ここから道道 89 号線で国道 230 号線に出る。そして 230km 先の函館市大沼を目指す。途中の喜茂別町から洞爺湖近くまでは 7 月 22 日に洞爺湖から支笏湖へ向かった逆コース。洞爺湖手前で 285 号線に入りで内浦湾に出て国道 37 号線を進む。札幌・函館間は通行量も多く東部等のようにスイスイは走れない。長万部の文字に反応して JR 長万部駅に 15 時過ぎ到着。昭和 25 年創業の名物駅弁屋で蟹飯を買って遅めの昼食。



近くのスーパーに入り夕食の食材を仕入れ、長万部 IC から高速に入る。1 時間程で今夜の宿大沼プリンスホテルに 17 時半到着。激安ミステリープランでどうかと思ったが、広いツインに温泉ありで大満足。



本日の走行距離 247.3km。

8月22日(金)33日目 大沼～恵山岬～函館市

リゾートホテルなのでチェックアウトが12時だが、函館までの海岸ドライブのため11時前チェックアウト。10時チェックアウトでは忙しいが、ゆったり。

早朝からの雨が降り続く中だが、道道43号線で小沼・大沼を軽く撮影して、大沼公園駅から道道338号線で大沼沿いから内浦湾海岸線沿いの鹿部町に向かう。

途中大沼で一旦停止検問に遭遇。こんな雨でしかもいやがらせのような一旦停止場所。観光客か？だが1台が捕まる。かわいそうに。



鹿部町から国道278号線を南下し渡島半島東端恵山岬へ。途中の国道も新しく(ナビも知らない)快適道。海岸線沿いは漁港が続き小さな集落が続いている。

278号線から道道231号線から635号線で恵山岬の灯台。



恵山も火山のようで温泉もある。雨でなければ展望まで上がりたいが霧のため断念。278号線に戻り海岸線沿いに函館中心街へ。

途中で本州との最短地の汐首岬を通る。青森県の大間が目の前だがここも霧で見えない。ホンマグロも見えない。



15 時 20 分ホテルにチェックインし少し休憩。本日の走行距離 130.6km、苫小牧から 4,073km。ホテルが市電千歳駅に近いので車を置いて市電で観光コースに行く。一日乗車券を買って末広町で下車。古い教会などの地区を散策。



聖公会の十字の建物から函館山の山頂が見える。展望台が霧で見え隠れ。レーダーを見ると雨間が 1 時間ぐらいと予測。急ぎロープウェーで展望台へ。中国人団体などで満杯のロープウェー。山頂到着し屋上展望台へ出たところで雨？レーダーをチェックし少し状況が変わって様子を確認。予想どおり 20 分ぐらいで霧間が出て見え隠れが始まる。屋上に移動し見えたり隠れたりだが、団体客が帰った後で空いていて何とか全景を見ることが出来



た。

下山後、レンガ倉庫街まで歩き、ビアホールで夕食。



函館駅前で途中下車して朝市の道最南端～海岸沿いに積丹半島～余市（試飲）～小樽の予定。

8月23日（土）34日目 函館市～トラピスト修道院～福島町～松前町～江差町～島牧村

7時過ぎ車で函館駅前の朝市。噂に聞くイカ釣り体験。釣ったイカを刺身でいただく。透き通ったイカはコリコリ。
車でなければビールタイム。ここ函館はイカが安い。



ホテルに戻り9時40分チェックアウトし松前に向けて出発。

国道228号線を走りトラピスト修道院に立ち寄る。函館駅から近いと思っていたが、函館湾の反対側25km近くある。ここも46年前の修学旅行訪問地。このソフトクリームは絶品でした。



知内町から国道は海岸線を離れ福島町で津軽海峡の海岸線に出る。福島町は横綱千代の富士の出身地によろだ。道の駅の前が稽古場になっている。道の駅のスルメが激安。

海岸線を少し走ると渡島半島最南端部、北海道と本州（竜飛岬）との最接地点を通過し、昼時間に松前町到着。



松前漬を捜索し城跡など古い町並保存地区を回るが、結局道の駅が一番種類豊富だった。昼食もここでイカ天井を食べるが、これもイカー匹のすべての部位の天麩羅がのった優れもの。



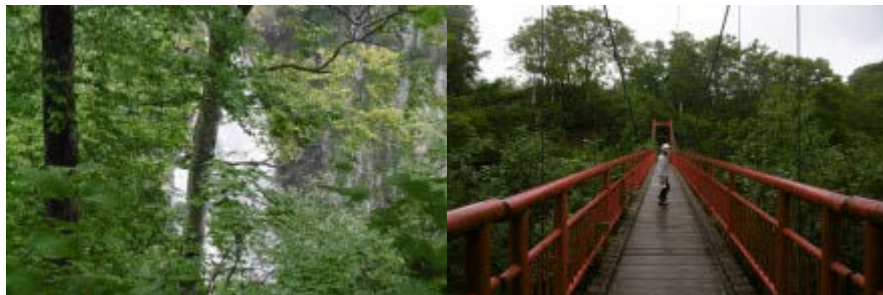
ここから228号線は日本海側追分ソーラン街道を北上。明日の行程考えぶっ飛ばす。江差町で古い町並みを見た以外はひた走り200km先の島牧村の道の駅に18時前到着。静かなところだが他に車も無い。雨も降りだしキャンプ・車中泊を諦めほど5kmほど山へ入った千走川温泉を尋ねる。1軒宿で素泊まりならOKをもらう。クーラーボックスに残った食材で夕食。



本日の走行距離 329.6km、今回の最高移動距離。

8月24日(日)35日目島牧村～岩内町～泊村～神威岬～積丹岬～余市町～小樽市

旅館の奥に滝があるとのことで、7時過ぎ賀老の滝を見るために車で山に入る。山奥のキャンプ場も4台の車でキャンプしていた。



滝と湧き水をくんで宿に戻り9時前チェックアウト。国道229号線に出て100km先の最後の岬のある積丹半島を目指す。半島の取付き地点泊原発の手前岩内町まで途中弁慶岬を見学して70kmを1時間。



セブンイレブンでモーニングコーヒーで一休み後半島南の神威岬へ。11時岬の駐車場到着。強風で車の駐車方向を間違えると大変。(風に向かって駐車)少し坂を上ると灯台が見えるが岬の先までは強風で本日通行禁止。しかし眺望は素晴らしい。



国道に戻り 229 号線から道道 913 号線に入り北側の積丹岬へ。駐車場から直ぐのトンネルをくぐると海岸の上に出る。太陽が出て、海の積丹ブルーが出現し感動。少し戻って岬の灯台まで登る。

先を急ぎ 229 号線に出て余市に向かう。余市駅裏のイオンの駐車場に止め、昼食をとり歩いてニッカの工場へ。ゆっくり見学 鶴 17 年を試飲、美味しい。



思い切って原酒とシェリー樽で寝かした竹鶴をお土産に購入。アルコールが抜けたところで小樽へ移動。国道 5 号線进行小樽市中心街に入り夕食に蟹を探す市場はほとんど終了。あきらめてコープで食材を買って、小樽の南側天狗山にある自然の村に向かう。5 号線から道道 697 号線～965 号線に入り北照高校野球場から林道に入る。小樽駅から 7km ほどだが結構な山道。キャンプ場を備えた研修宿泊施設。

本日の走行距離 216.2km。

8 月 25 日(月)36 日目 小樽市～フェリー～

最終日を迎えました。

宿舎前がパークゴルフ場、北海道ではどこでもあるレジャーのようで最後の記念にと思って受付に聞くと月曜日はお休みとのこと？(行政の施設管理はこんなもの)

諦めて 9 時前チェックアウト、天狗山を下ったセブンイレブンでモーニングにネット接続。セブンさんお世話になりました。697 号線を進むと旭展望台の案内標識を発見。小樽商大の裏手あたりらしい。3km ぐらいなので行ってみる。ほん近くで小樽市内一望のビューポイントでした。



国道 5 号線に出て余市方面に戻り道道 454 号線に入って石狩湾の海岸沿いを走り日和山灯台に行く。灯台手前にある鯉御殿を見学し灯台近くまで登る。ここからも市内が見渡せる。



市内に戻り南小樽駅に近いフェリーターミナルに向かう。直ぐ横手に新南小樽市場を見つける。ここも魚介類が豊富だが、ワタリガニやシャコえびを発見。このあたりではマイナーな様子だが安いというか、今頃大阪湾ではこのサイズのメスは売っていない。喜び勇んで船の食材として購入。

フェリーターミナルで時間など確認してチケットを発行してもらおう。小樽観光の中心地に戻り車をパーキングに止め、まずは運河クルーズ船に乗船。観光案内をしてもらうとなるほどが一杯。



船乗り場近くでジンギスカンの昼食。お店のジンギスカンも最終日で始めてだがこれもグッド。観光通りを散策。てんぷらの直売とある店の駐車場に長い行列ができています。かま栄の直売店。確かに美味しい。これも船中の食材としてゲット。

この後、最後の夕食場所を探しに鮭通りに行く。月曜日であり休みの店もある。結局るるぶ等観光案内に出ていた和楽に決定。小樽駅周辺まで足を伸ばした後、駐車場に戻り車をフェリーターミナルへ移動。歩いて運河沿いの和楽に行く。店内は満席で待ちも大勢。2人でカウンターが直ぐ空いてラッキー。最後の鮭を堪能しゆっくりフェリーターミナルへ歩いて戻る。



23時過ぎ乗船開始。定刻の23時30分出航。本日の走行距離30km。北海道での走行距離は4,649.4km。

8月26日(火)～舞鶴～枚方

穏やかな海でゆれも少ない航海。

遅めの昼食を小樽で仕入れたシャコエビ、ウニ、テンプラで豪華にいただく。



舞鶴港に予定どおり21時入港。車を出すの少し時間がかかったが、舞鶴東ICから舞鶴道～中国道を通り吹田ICから下道で枚方へ11時過ぎには到着。走行距離150.8km。

出発の枚方から名古屋港まで160km、北海道の走行距離4,649.4kmと枚方から名古屋・舞鶴で310.8km、全体の走行距離は4,962.2k

2014年夏北海道周遊旅行全行程



7月19日(土)午後枚方市を出発して

国道1号線～京滋バイパス～新名神～東名阪～伊勢湾岸～名古屋港(160km)

名古屋港から太平洋フェリーで仙台港経由して21日昼前苫小牧港着

以下北海道の日程

1日目苫小牧市～白老市～登別市～室蘭市(100km)

2日目室蘭市～伊達市～壮瞥町～洞爺湖町～留寿都町～喜茂別町～千歳市(支笏湖)～苫小牧市(210km)

3日目苫小牧市～厚真町～むかわ町～日高町～新冠町～新ひだか町～浦河町～様似町～えりも町(189km)

4日目えりも町～広尾町～大樹町～豊頃町～浦幌町(152.5km)

5日目浦幌町～池田町～幕別町～中札内村～帯広市(118.6km)

6日目帯広市～芽室町～清水町～新得町～南富良野町～富良野市(132.7km)

7日目富良野市～中富良野町～上富良野町～美瑛町～東神楽町～旭川市(125.3km)

8日目旭川市～深川市～秩父別町(94.3km)

9日目秩父別町～留萌市～小平町～苫前町～羽幌町～初山別村(132.8km)

10日目初山別村～遠別町～天塩町～幌延町～豊富町～稚内市(156.2km)

11日目稚内市からフェリーで利尻島(利尻町～利尻富士町＝観光バス)

12日目利尻島からフェリーで礼文島(礼文町＝レンタカー約80km)からフェリーで稚内市

13日目稚内市～猿払村～浜頓別町～枝幸町～雄武町(194.5km)

14日目雄武町～興部町～紋別市～湧別町～佐呂間町～北見市～網走市(155.2km)

15日目網走市(44.1km)

16日目網走市～小清水町～斜里町～標津町(158.3km)

17日目標津町～羅臼町～斜里町(102.2km)

18日目斜里町(ウトロ)から観光船半島めぐり～清里町(92km)

19日目清里町～弟子屈町(川湯温泉)(110.1km)

20日目弟子屈町～美幌町～津別町～足寄町～釧路市～弟子屈町(226.9m)

21日目弟子屈町～標茶町～別海町(165.5km)

22日目別海町～根室市(66.6km)

23日目根室市～浜中市(154.1km)

24日目浜中市～厚岸町～釧路町(達古武湖)(132.3km)

25日目釧路町から釧路川カヌーくんだり～釧路市(ノロッコ号)(15.4km)

26日目釧路町～鶴居村～釧路市～白糖町～本別町～足寄町(193.8km)

27日目足寄町～上士幌町～士幌町～音更町(186km)

28日目音更町～芽室町～清水町～日高町(100km)

29 日目日高町～占冠村～むかわ町～夕張市～栗山町～由仁町～長沼町～北広島市～札幌市(定山溪温泉)
(156km)

30 日目札幌市(131.4km)

31 日目札幌市

32 日目札幌市～喜茂別町～留寿都村～豊浦町～黒松町～長万部町～八雲町～森町～七飯町(大沼)(247.3km)

33 日目七飯町～鹿部町～函館市(130.6km)

34 日目函館市～北斗市～木古内町～知内町～福島町～松前町～上ノ国町～江差町～乙部町～八雲町～せたな町～島牧村(329.6km)

35 日目島牧村～寿都町～蘭越町～岩内町～共和町～泊村～神恵内村～積丹町～古平町～余市町～小樽市
(216.2km)

36 日目小樽市(30km)からフェリー

8月26日～舞鶴市～枚方市(150.8km)午後11時過ぎ到着

全行程4,962.4kmの走行。北海道内は4,649.4km。

2014 年夏北海道周遊の旅記 宿泊編

今回の旅行をいくつかのテーマに分けてまとめてみようと思う。

まず初回は、宿泊についてのまとめ。

北海道での35泊の宿泊は、

ホテル・旅館等が24泊、キャンプ場8泊、車中泊3泊でした。

半分からはキャンプできるかなと思っていましたが、想定より天候が安定せず雨も多かったのでホテルが多くなりました。

ホテル・旅館の詳細を見ると、

ビジネスホテル10泊、観光ホテル9泊、民宿系5泊。

ビジネスホテルでは、朝食付き5回、素泊まり5回。

観光ホテルでは2食付が3回(ちょっとリッチに)、夕食付が2回、朝食付きが1回(B&B)、素泊まり3回。

民宿系では、夕食付が1回、素泊まり4回、その内1回が公営研修施設でした。

キャンプ場では、1回がキャビン利用。

車中泊は、室蘭市、清里町、足寄町の道の駅でした。

費用で見ると、ビジネスホテルでは1泊10千円、観光ホテルでは1泊19千円、民宿系では、80千円。キャンプ場では1泊1千円が平均値。

ホテルの手配は、じゃらんとトリップアドバイザーで検索、都市部はほぼこの2つで予約。

ローカル地域では当該市町村と観光協会のHPから情報から宿泊情報を見て電話による問い合わせ予約でした。

キャンプ場事前にある程度情報を見ておりました、Hokaido Camping Network の以下のページが参考になりました。

<http://homepage3.nifty.com/campnet/>

このHPには北海道キャンプ場見聞録、キャンプ場情報 BBS といった口コミ情報が結構判断材料になりました。

車中泊には、下記HPや道の駅情報（HPはいろいろあるが、事前に行った雑誌の付録が道の駅とその近隣温泉情報があり非常に役立ちました。）を参考にしました。

<http://www.ne.jp/asahi/kenharu/2008/camp-p-haku02hokkaido.html>

道の駅むかわにあったキャンピングカー指定駐車場など、道内では道の駅での車中泊は容認されているようでした。

2014 年夏北海道周遊の旅行記 ホテル編

都市部ではビジネスホテルと書きましたが、

ビジネスホテルの中でリーズナブルのはルートインホテルでした。

苫小牧と網走で2回泊まりましたが、朝食（無料サービス）付で大浴場もあり低価格の中でも部屋や対応などサービスもよかったと思っています。

部屋の点では、稚内のANAクラウンプラザホテルがバスやアメニティなども我が家にとっては最高でした。



観光旅館の部では2食付の利尻観光ホテルと知床プリンスホテルと定山溪第一寶亭留翠山亭の3箇所。利尻は離島料金なのでそれなり。知床プリンスホテルはネット接続が問題でした。リゾートなのでインターネットは重視していないのでしょうか？それにしても設備があるのにです。定山溪第一寶亭留翠山亭は温泉がすごい。

これだけの立派な温泉は初めて。体調不良で残念したが、もう一度入ってみたい温泉です。



民宿系はあたりはずれが多き。ビジネスホテルのように価格競争で格安といったところはまずない。知床では直前でのネット環境も悪く十分検討できず元ユースホステルの民宿をワイワイ感で予約しましたが、宿泊としてはちょっと？。根室もビジネスホテルが少なく民宿でしたが、リーズナブルな価格で夕食付でした。



2014 年夏北海道周遊の旅行記 キャンプ編

☆芝などの草地が多くグランドコンディションは良好。

☆サイトの選択としてオートキャンプでなくともフリーサイトでも十分。

☆空いていることが多い。(土地が広く、キャンプ場に適した場所が点在する)

☆蚊の問題は要注意。(今回は特に問題は無かったのですが、湿地帯などかなり大きな蚊やブヨが多いところがあるらしいので、備えは必須)

達古武キャンプ場も当日予約で区画のオートサイトは満杯でしたが、フリーサイトならOK。

フリーサイトでもの条件であればまず当日現地で申し込みで可能と思われます。



今回は、キャンプを楽しむより移動手段としての宿泊のため、設営・撤収がスムーズにできるようにオートキャンプ場の情報を集めていました。しかし実際には 2 箇所のオートキャンプ場以外でも駐車場直ぐに設営可能(空いているのも理由のひとつ)でわざわざ高い料金のオートキャンプサイトを使わなくて十分であり、空き状況を考えるとフリーサイトの方がベターかもしれません。但し、駐車スペースとサイトとの位置関係は把握しておく必要はあります。

ちなみに最初のテント泊をした浦幌町森林公園キャンプ場ではオートサイトに宿泊しましたが、

フリーサイトも駐車場横にあり 1 泊千円。オートサイト(電源付)も 2 千円でしたが 20 区画のサイトに他だれもいなく独占はいいのですが少し寂しい状況でした。ちなみにここはバガローも3,500 円(6 人)で格安。車で 3 分ほどに地元のお風呂もある。(当日は定休日で入れなかったが)

後から考えるとここはベストキャンプ場の一つと言えるでしょう。



グランドコンディションは、8 泊すべとの場所が芝等の草地で、適当な柔らかさとペグも打ちやすく止まりもよく、良好な環境でした。

そして何よりのキャンプの醍醐味である自然です。

初山別村のみさき台公園キャンプ場の海岸と夕陽。



雄武町の日の出岬キャンプからあがる朝陽。



テントから自然を満喫できるのが、ホテルなどでは味わえない変え難い魅力です。

2014 年夏北海道周遊の旅記 ガーデン編

富良野のラベンダー畑が旅行目標でしたが、夏はいたるところで花が咲き、ガーデンが点在。

富田ファームなど富良野や美瑛は花とガーデンが観光の中心ですが、今回の旅でも、十勝の紫竹ガーデン、千年の森、旭川の上野ファームに行きました。これ以外にもオーツクラベンダー畑、あばしりフロックス公園、フラワーガーデンはなテント、ゆにガーデンなど行く先々でガーデンを発見。

十勝周辺には北海道ガーデン街道として 8 つのガーデンがあるようです。

<http://www.hokkaido-garden.jp/garden.html>

訪問した中では、上野ファームが最高でした。



次に紫竹ガーデンかなあ。



ちょっとと感じたのには十勝の千年の森。森なのでガーデンとして見るとこの程度との印象。帰りのフェリーで英国の風景式庭園を見て、これも意識して造られたのか？ですが。歩いて歩いて丘まで上がると眺めはよいのですが、大変。入場料が一番高い 1,000 円なので千円の森と呼びます。

オホーツク海に面した小清水原生花園やサロベツ原生花園など原生花園は各地に点在しますが、エゾカンゾの咲く時期が見栄えがするのですが、7 月中旬には終わってしまし、8 月は華やかさにはかけるようです。

2014 年夏北海道周遊の旅行記 湖・池沼編

湖では、

洞爺湖、支笏湖、ウトナイ湖、湧洞湖、クッチャロ湖、サロマ湖、熊取湖、網走湖、涛沸湖、知床五湖、屈斜路湖、オンネトー湖、阿寒湖、摩周湖、風連湖、塘路湖、シラルトロ湖、足寄湖、糖平湖、然別湖。19湖（知床五湖を個別にカウントすると23湖）を回りました。

全国3位で道内最大のサロマ湖から知床五湖は沼サイズといろいろ。函館に近い大沼などは湖といってよいサイズですが、名称に湖のみを記載しました。

最高に美しい湖はオンネトー湖です。



2 番目に摩周湖です。



オンネトー湖は、周りに雄阿寒岳と阿寒富士に囲まれた静かな場所にあり、北海道の3大秘湖のひとつだそうです。

摩周湖は山に囲まれた湖で周囲が稜線になっており、摩周湖だけでなく西の硫黄岳や北の斜里岳などの遠望も楽しめる所でした。



それと、遠くからしか見えないのですが、阿寒湖の近くにあるペンケトーとパンケトーもいいですね。



池沼では、

登別温泉の大湯沼、豊頃町の湧洞沼、サロベツ湿原の長沼、利尻島の姫沼とオタマリ沼、函館の大沼・小沼。

池では、青い池、神の子の池を回りました。

神秘の青い色をした美瑛町の白金青い池がNO1です。

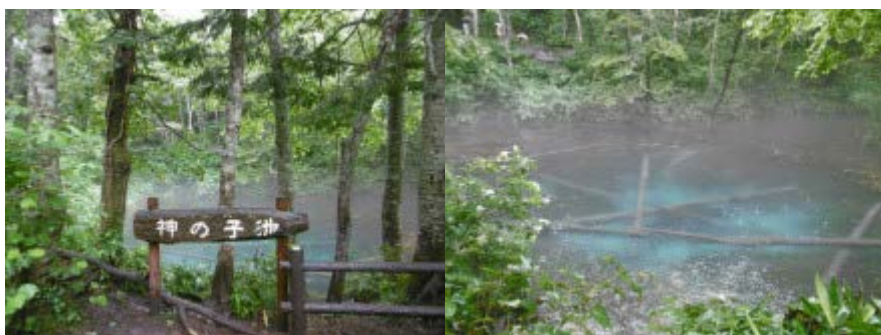


ネットの画像を見ればその色の変化とすごさがわかります。

https://www.google.co.jp/search?q=%E7%99%BD%E9%87%91%E9%9D%92%E3%81%84%E6%B1%A0&es_sm=122&biw=1402&bih=663&source=lnms&tbm=isch&sa=X&ei=Ksc9VKbxMMiTuASOrYCABA&sqi=2&ved=0CacQ_AUoAg



次は、摩周湖の裏にある神の子池です。ここは倒木腐らず青い水面から見える不思議な池です。写真は雨のため水面が少し揺れて見えますが。



2014 年夏北海道周遊の旅記 滝編

国道等の道路沿いでも滝に出ることが何度かあった。関西だと観光スポットになるぐらいの滝だが北海道ではマイナーな存在で観光案内には出てこない。

写真は、広尾町の国道336号線で見たフンペの滝（後から町の情報で確認）



美瑛町の白ひげの滝（青い池の上流）、白金不動の滝、知床のカムイワッカ滝・オシンコシンの滝と船上から見たフレベの滝、清里町の男鹿の滝、島牧村の賀老の滝を回りました。

知床のカムイワッカ滝は温泉滝で歩けるところが楽しい場所です。



美瑛町の白ひげの滝の滝も青い池同様にブルーが綺麗な滝でした。



オシンコシンの滝は、ナビの位置がずれていて（2台とも）苦労して見つけて滝です。（オシンは苦労する）



男鹿の滝は、上流に川がなく岩などから染み出た水が流れる滝とのことでした。



9月に鶴瓶の家族に乾杯で清里町が放映され、ここにはさくらの滝というサクラマスが遡上し飛び跳ねる滝で有名ならしいが、観光案内所で見落としたようで残念ならが見ていなかった。次回に期待。

最後は、賀老の滝です。道外の観光者はめったに行かない場所かなあ。天然の炭酸水であるドラゴンウォーターも近くにあります。

2014 年夏北海道周遊の旅記 動物編

出会った動物たちです。

No1 は、北海道ユキウサギらしい。富良野のフラワーランドかんで発見。



No2は、達古武キャンプ場の近くの遊歩道で見つけてエゾリス？です。



No3に一応キタキツネでしょうか？結構でてる。人間から餌をもらいにくる。



そして、鹿はいろいろです。

知床五湖



野付半島の鹿



風連湖の春国岱の鹿



最後は、めったに見かけないらしいですが、真っ黒なカタツムリ(ブドウマイマイというらしいです。)



2014 年夏北海道周遊の旅記 岬編

我が家のドライブは全国の岬制覇です。

初めての家族キャンプで室戸岬に行ったのがスタートでした。まず四国制覇で、足摺岬、佐田岬でキャンプ。

能登半島の金剛崎、伊豆半島の石廊崎、九州の佐多岬に近場では潮岬等々、地図上の端を攻めてきました。

今回の北海道旅行も東西南北岬を巡る旅でした。襟裳岬、宗谷岬、恵山岬、白金岬、神威岬など地図で出っ張っている岬は制覇しました。それ以外にも室蘭の地球岬、絵柄岬、留萌の黄金岬、稚内のノシャップ岬、礼文島のスコトン岬、霧多布岬等々、小樽から留萌までの日本海側以外は走りました。やはり宗谷岬＝北緯 45 度 31 分 22 秒(写真のように横の売店表示は 14 秒?)が北端としてネームバリューからもいいかなあ。



次いでは、東経 145 度 48 分の東の端、納沙布岬です。



そして位置的に北海道最南端にあたる白神岬(松前町)の北緯 41 度 23 分50.5秒。



南北と東の端は行きましたが、西端が男花岬(せたな町)なのですが、天候と時間的に海岸沿いの道道 740 号線を通過をあきらめて国道を走行。(今から考えると残念)